

# パシフィコ横浜 緊急対応ガイド



2020年6月改訂

## ～ 目 次 ～

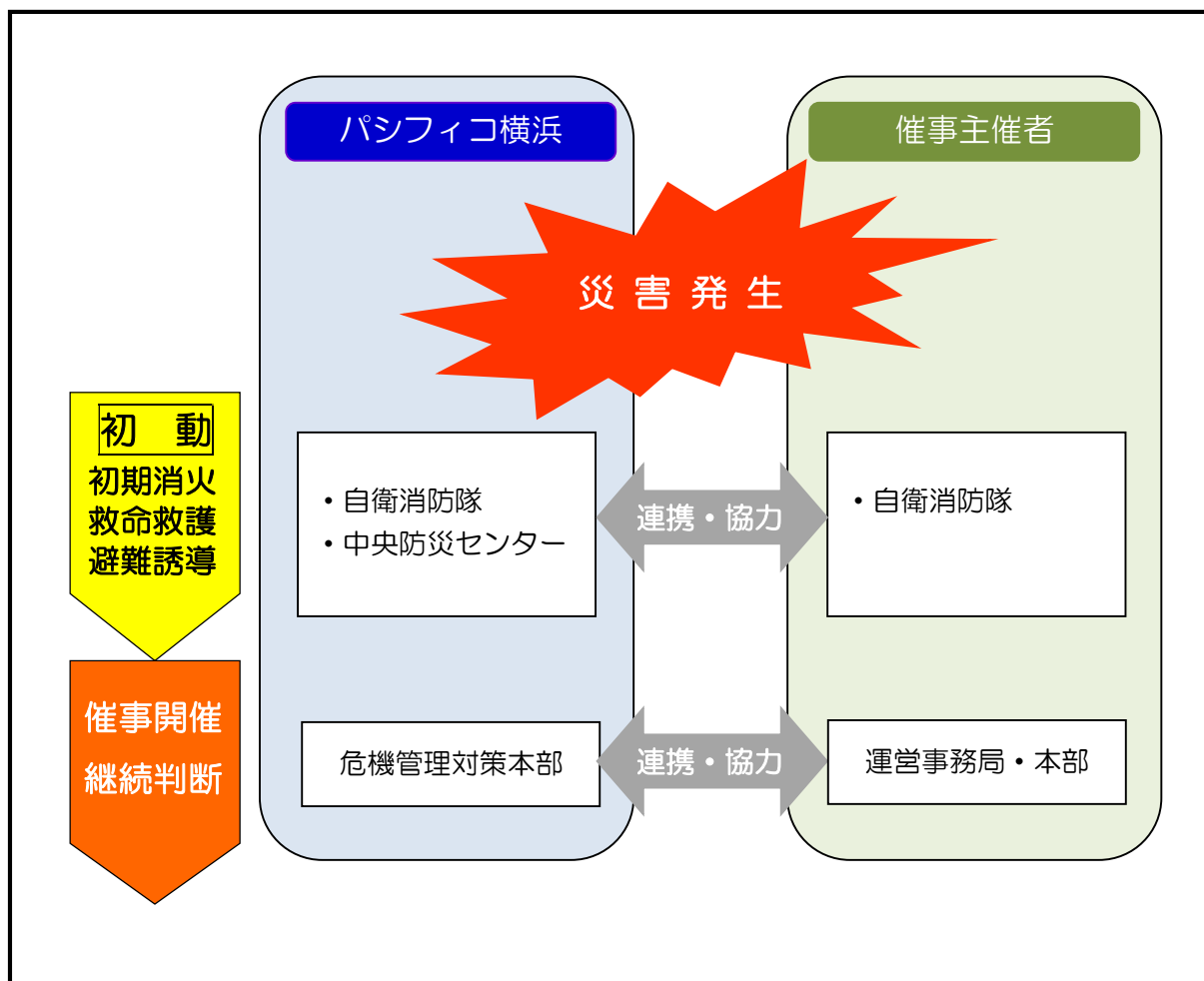
目次	1 ページ
はじめに	2 ページ
1. パシフィコ横浜の概況	
(1) 横浜市防災計画とパシフィコ横浜の位置づけ	3 ページ
(2) 想定地震と被害想定	4 ページ
(3) パシフィコ横浜の施設について	5 ページ
(4) 避難場所	6 ページ
2. パシフィコ横浜における防火防災体制	
(1) 非常時の連絡体制	7 ページ
(2) 自主防火防災管理	8 ページ
3. 緊急事態発生時における行動基準・安全対策	
(1) 火災	10 ページ
(2) 地震	11 ページ
(3) 救急（病人・負傷者）	12 ページ
(4) 事件・事故	13 ページ
4. 資料	
(1) 避難経路	15 ページ
・ 国立大ホール	
・ 会議センター	
・ 展示ホール・アネックスホール	
・ ノース	
(2) 防災設備	
① 屋外消火栓	23 ページ
② 屋内消火栓	23 ページ
③ 非常電話	23 ページ
④ 常設消火器	23 ページ
⑤ 放水銃	23 ページ
(3) 救護設備	
① 救護室	24 ページ
② AED（自動体外式除細動器）	25 ページ
(4) 災害用備蓄品	26 ページ

## <はじめに>

本ガイドは、パシフィコ横浜で催事をご開催いただく主催者の皆様に、弊社施設の特性や防火・防災体制をご理解いただくとともに、火災・地震等の災害や事件・事故が発生した場合に、パシフィコ横浜との連携及び連絡体制、また、主催者の皆様にご対応いただく事項について、ご説明致しております。

主催者の皆様におかれましては、「パシフィコ横浜防災指針」（別冊）と併せてご参照いただき、万全なる防火・防災体制を構築していただきますようお願い致します。

緊急事案発生時、主催者の皆様と弊社の相互協力は大変重要となりますので、皆様のご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い致します。



## 1. パシフィコ横浜の概況

### (1) 「横浜市防災計画」におけるパシフィコ横浜の位置付け

#### ① パシフィコ横浜の位置付け

「横浜市防災計画」により、パシフィコ横浜の施設は、災害時における以下の施設・拠点に指定されています。

- ・帰宅困難者一時滞在施設
- ・予備的物流拠点（\*1）
- ・補充的避難場所（\*2）
- ・津波避難施設

また、大規模災害時の警察署代替施設として、神奈川県警戸部警察署とも協定を締結しております。

大規模災害時においては、ご利用者の皆様との協議の上、施設の開放を決定いたします。

なお、パシフィコ横浜周辺地域およびみなとみらい地区は、「大規模延焼火災の恐れが低い地域」に指定されており、特に広域避難場所を指定しなくても、個々人の判断による避難行動で生命の安全が確保される地域とされております。

（※1）「予備的物流拠点」：救援物資の受入れ、仕分整理、配送を行うための施設

（※2）「補充的避難場所」：多数の避難者で避難所のスペースが不足した場合に、補充的避難場所として活用するもの

#### ② 横浜市の備蓄品（みなとみらい地区）

2019年11月現在

種類（保管場所）	内容
災害用地下給水タンク	大型災害用地下給水タンク × 4 基 ・高島中央公園（1,500 m <sup>3</sup> ） ・カップヌードルミュージアムパーク（1,300 m <sup>3</sup> ） ・ヨーヨー広場地下（グランモール公園内 / 1,000 m <sup>3</sup> ） ・臨港パーク地下（700 m <sup>3</sup> ） （ 常時水道水がタンクの中を流れる仕組みになっており、 災害時には、約 50 万人分の飲料水を 3 日分確保できます。 ）
帰宅困難者用備蓄倉庫 （臨港パーク）	8,000 名の帰宅困難者の受け入れを想定して、以下の災害用備蓄品を整備しております。 （ 保存ビスケット、水缶詰、高齢者用オムツ、紙オムツ（高齢者・幼児）、 おしりふき、生理用品、トイレパック、トイレトペーパー、アルミブランケット、 大型トイレtent、ワンタッチtent、発電機、ランタン、バルーン投光器、等 ）

【参考】「横浜市防災計画」のホームページアドレス

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/keikaku/keikaku.html>



## (2) 想定地震と被害想定

「横浜市防災計画 震災対策編（平成 27 年 2 月修正版）」では、想定地震・被害想定・津波想定は、以下のとおり記載されています。

### ① 想定地震

元禄型関東地震（M8.1）、東京湾北部地震（M7.3）、南海トラフ巨大地震（M9.0）、慶長型地震（M8.5）の4地震を横浜市域に最も被害をあたえる地震として想定しています。

地震名	解説
元禄型関東地震	相模トラフ沿いを震源とするマグニチュード8.1の地震
東京湾北部地震	マグニチュード7.3の首都直下地震
南海トラフ巨大地震	東海地震を包括したマグニチュード9クラスの地震
慶長型地震	神奈川県「平成23年度津波浸水想定検討部会」で設定したマグニチュード8.5の地震。津波被害の検討対象地震

### ② 被害想定（みなとみらい地区）

想定されている上記4種類の地震におけるみなとみらい地区の被害想定は、以下のとおりです。

	元禄型地震 (M8.1)	東京湾北部地震 (M7.3)	南海トラフ巨大地震 (M9.0)	慶長型地震 (M8.5)
想定震度	7	6強	5強	—
液状化被害	可能性有	可能性有	可能性有	ほとんど生じない
津波想定 ※神奈川県津波 浸水想定検討 部会	横浜港最大 2.6m ↓ 津波による影響 殆どなし	横浜港最大 2.2m ↓ 津波による影響 殆どなし	横浜港最大 1.9m ↓ 津波による影響 殆どなし	横浜港最大 4.1m ↓ 津波による影響 ノース 1Fのみ可能性有

「横浜市防災計画」では、平成 23 年度に神奈川県が設置した津波浸水想定検討部会で想定した津波の被害を想定しています。

最も津波被害が大きいと想定される地震は「慶長型地震」で、みなとみらい地区の**最大津波高は 4.1m**とされています。

### (3) パシフィコ横浜の施設について

#### ① 建物の耐震性

パシフィコ横浜の建築物は、新耐震設計法（1981年制定）により設計されており、建物躯体は、震度6強に耐えるものである。

しかし、これはあくまでも建物躯体のみの耐震強度であり、窓ガラスの破損・散逸、天井・壁等、内装の損壊、設備・機材類の落下・転倒・破損等の被害が想定されます。

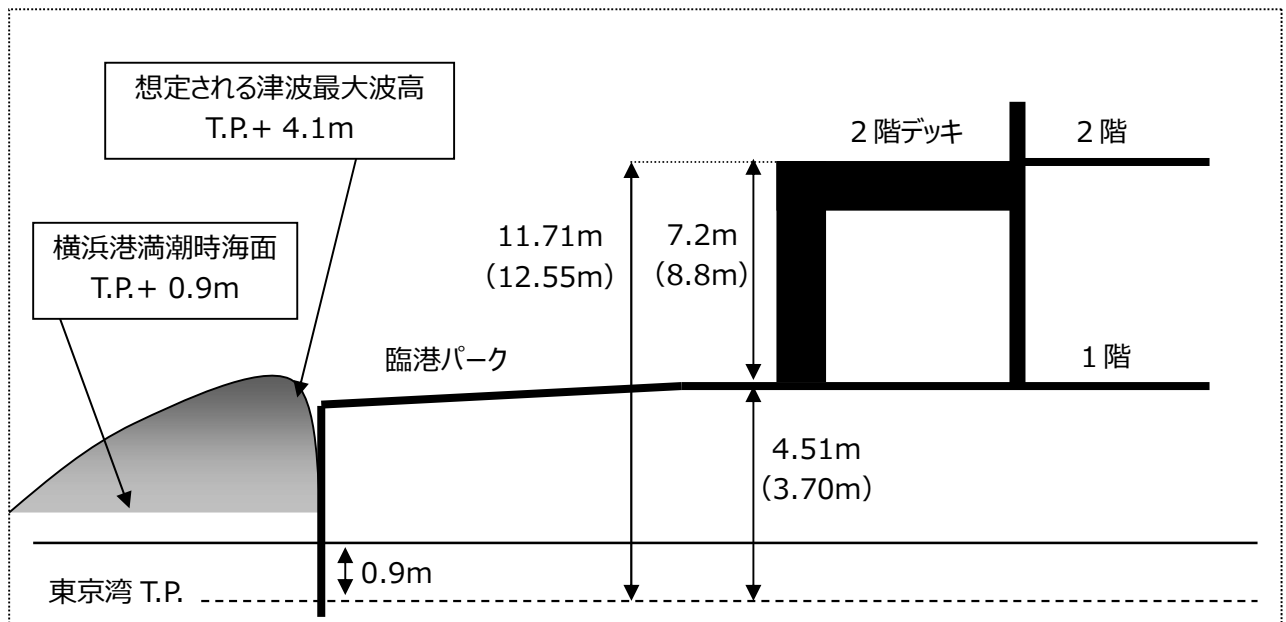
#### ② 建物の高さ・標高

パシフィコ横浜の建築物は、以下の高さにより設計されています。

津波警報が出た場合には、2階以上を避難場所といたします。

	地表からの高さ	東京湾平均海面(T.P.)を基準とした標高
1階部分	0m	+4.51m (+3.70m)
2階部分	+7.2m (+8.8m)	+11.71m (+12.55m)

( ) 内はノース側の標高



( ) 内はノース側の標高

#### (4) 避難場所

避難行動基準については、「3. 緊急事態発生時における行動基準・安全対策」にて詳細を記載していますが、想定している避難場所は以下のとおりです。

災害内容	避難場所
火災	・臨港パーク (火元から遠いところとする) ⇒ 下図の薄い緑色のエリア
地震 (津波警報発表なし)	・建物内に被害が無い場合は建物内 ・建物内に被害がある場合は臨港パーク ⇒ 下図の薄い緑色のエリア

・気象庁は、津波による災害の発生が予想される場合に、地震が発生してから約3分を目標に津波警報等を発表します。

種類		発表される津波の高さ、又は内容
津波警報	大津波	5m、10m、10m超
	津波	3m
津波注意報		1m

#### ■ 避難場所



## 2. パシフィコ横浜における防火・防災体制

パシフィコ横浜では、「パシフィコ横浜防火防災消防計画」に基づき、火災予防を実施するとともに、自衛消防隊を編成して非常の場合に備えています。

また、催事主催者の編成による自衛消防隊の積極的な参加・協力を得ることにより、災害の発生防止と催事の安全確保に努めております。

### (1) 非常時の連絡体制

火災、救急等の緊急事態が発生した場合は、消防機関へ通報するとともに、**中央防災センターに連絡**してください。中央防災センターは、展示ホールの地下1階にあり、24時間常駐して全施設の警備・監視にあたっています。

#### ① 連絡方法

電話の種類	電話番号
内線	9119 または 2127
非常電話	「消火栓」設備の上部に設置（受話器を取れば直接繋がります）
外線	045-221-2127

#### ② 連絡内容（※わかる範囲で）

連絡事項	連絡内容
場所	緊急事態の発生場所
内容	緊急事態の内容・原因・状態 等
負傷者	負傷者の有無
避難	避難実施の有無

#### ③ 救急車手配における連絡内容（※わかる範囲で）

連絡事項	連絡内容
発生状況	発生場所・発生時間
傷病者情報	病人・負傷者の特徴（年代・性別・国籍等）
状態・容態	病人・負傷者の状態・容態（意識の有無等）
原因等	発病の状況・けがの原因

#### ④ 関係行政機関への連絡

連絡事項	警察	労働基準監督署
内容	● 暴行・傷害・盗難等の事件 ● 利用中の負傷・死亡事故、交通事故 ● 作業中のけが・事故	● 作業中のけが・事故
連絡先	戸部警察署	神奈川労働基準監督署（横浜北）
住所	横浜市西区戸部本町 50-6	横浜市港北区新横浜 3-24-6 横浜港北地方合同庁舎 3階
電話番号	045-324-0110	045-474-1251

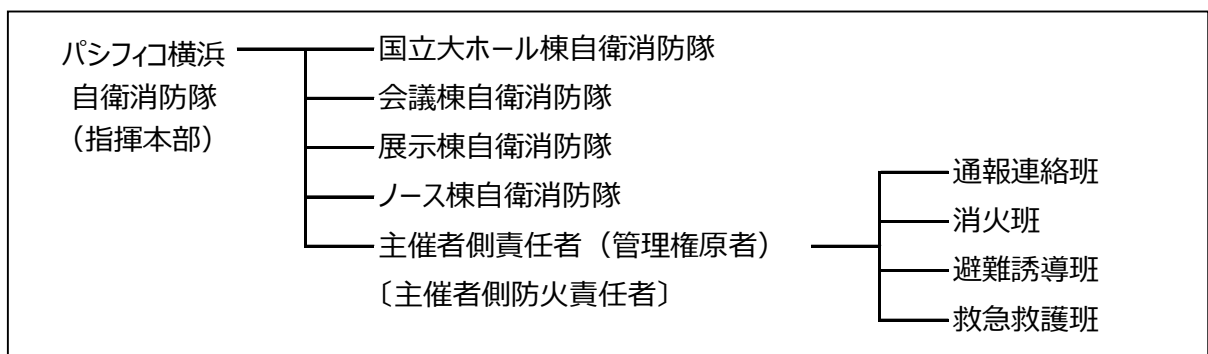
## (2) 自主防火防災管理

### ① 主催者側の管理責任

- ・ご利用期間中は、「パシフィコ横浜施設利用規則」および「パシフィコ横浜防災指針」に従い、利用者の責任において管理者を定めていただき、パシフィコ横浜との連絡・調整を図りながら、火災や事故の防止を行ってください。
- ・火災・地震・救急（病人や負傷者）や事件事故等が発生した場合に備え、担当者と「施設利用マニュアル」および本ガイドに基づいた打合せを綿密に行ってください。
- ・ご利用期間中に火災・地震等の災害が発生した場合は、パシフィコ横浜自衛消防隊の指示に従い、連携・協力のもと、通報連絡・避難誘導・初期消火・救急救護を行ってください。

### ② 主催者側責任者（管理権原者）の責務

- ・催事の企画・運営にあたっては、災害の未然防止と来場者の安全確保を最優先に行ってください。
- ・防火防災責任者を選任し、主催者側の予防管理組織（火元責任者、誘導責任者等）と自衛消防隊の編成により、積極的に防火防災管理業務を行ってください。



### ③ 主催者側防火責任者の責務

- ・催事関係者に対して「パシフィコ横浜防災指針」および本ガイドの周知徹底と災害防止の指導を行ってください。
- ・主催者側自衛消防隊の編成と任務分担の周知徹底、消防用設備の操作方法の指導等を行ってください。
- ・災害発生時におけるパシフィコ横浜自衛消防隊への連絡体制を確立してください。
- ・非常時の案内放送の文例を作成し、案内放送を行ってください。（※案内放送文例 次ページ参照）
- ・開場前、開催中および閉場後の会場監視を行ってください。
- ・設営、撤去時の会場整理や喫煙管理を行ってください。

案内放送文例（原則、2回繰り返します。）

■火災

火災発生連絡の場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様にお知らせします。〇〇で火災の連絡がありました。</li> <li>・ただ今、係員が確認しておりますので、今後の放送に留意してください。</li> </ul>
-----------	--



火災が発生した場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様にお知らせします。〇〇で火災が発生しました。</li> <li>自衛消防隊が活動を開始しています。</li> <li>・誘導員の指示に従い、落ち着いて非常口から避難してください。</li> </ul>
火災発生無しの場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様にお知らせします。〇〇で火災の連絡がありましたが、確認の結果、異常はありませんでしたのでご安心ください。</li> </ul>

■地震

地震が発生した場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様にお知らせします。ただ今、大きな地震を感じましたが、この建物は倒れる心配はありません。</li> <li>・窓際から離れ、身の安全を図ってください。</li> <li>・外へ飛び出るとは大変危険です。今後の放送に留意してください。</li> <li>・避難の際はエレベーターを使用しないでください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様にお知らせします。先ほどの地震の震源地は、〇〇で、地震の規模はマグニチュード〇、こちらの震度は〇〇でした。</li> <li>・ただ今、施設の安全を確認しています。誘導員の指示があるまでその場でお待ちください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外避難の指示がありました。落下物やガラス等に注意し、誘導員の指示に従って、落ち着いて避難してください。</li> </ul>
津波警報が出た場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波の恐れがありますので、2階以上に避難してください。</li> </ul>

■暗号文例

関係者を至急に参集させる場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・催事巡回担当者は、時間となりましたので、至急〇〇に集まってください。</li> </ul>
----------------	---

### 3 緊急事態発生時における行動基準・安全対策

#### (1) 火災

	主催者	パシフィック横浜
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">通報・連絡</div>	① <b>主催責任者へ連絡</b> ・主催者側自衛消防隊への指示 ② <b>中央防災センターへ連絡</b> ・内線：9119 または 2127 ・外線：045-221-2127 ③ <b>パシフィック担当者へ連絡</b> ④ <b>119 番通報の優先</b> ・火の手が強い場合は、主催者より直接 119 番に通報	① <b>主催者からの連絡受電</b> ・初動対応実施 ② 主催者からの連絡受電後、関係部署へ連絡 ③ <b>119 番通報</b> ・小規模火災の場合は、中央防災センターより 119 番に通報
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">初期消火</div>	① <b>消火器、屋内消火栓</b> ・消火器による消火活動 ・屋内消火栓による消火活動	① <b>消防用設備活用</b> ・消火器及び屋内消火栓等による消火活動
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">案内放送 避難誘導 応急救護</div>	① <b>案内放送</b> ・来場者へ案内放送 ② <b>避難誘導</b> ・来場者の避難誘導 避難場所は臨港パーク ③ <b>応急救護</b> ・負傷者の応急救護	① <b>案内放送</b> ・緊急の場合は非常放送を実施 ② <b>避難誘導</b> ・来場者の避難誘導 避難場所は臨港パーク ③ <b>応急救護</b> ・負傷者の応急救護
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">状況の確認</div>	① <b>被害状況の確認</b> ・消防隊到着までの現場保存 ・人身その他の被害調査	① <b>被害状況の確認</b> ・消防隊到着までの現場保存 ・消防隊による鎮火の判断 ・人身、会場その他の被害・損害調査
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">催事開催の判断</div>	① <b>開催（再開・中止）の判断</b> ・開催可否の協議	

#### ※火災に伴って停電が起きた場合

- ① 停電が発生した場合は、以下の機器類が作動します。
  - ・非常照明：保安照明の作動まで点灯します。
  - ・避難誘導灯：内蔵バッテリーにて最大 60 分程度点灯します。
  - ・非常放送設備：内蔵バッテリーで作動します。
- ② 電力供給が自家用発電機に切り替わり、保安照明等の緊急時に必要な設備が 2 ～ 3 分で立ち上がります。ただし、自家用発電機のみでは通常の供給量は確保できないため、安全確保に必要な設備機器(保安照明、非常放送、防災設備、給排水ポンプ等)への供給のみとなります。

## (2) 地震

	主催者	パシフィック横浜
案内放送 ↓	<b>① 案内放送</b> ・来場者へ案内放送 ・来場者に対する初動対応	<b>① 案内放送</b> ・気象庁が横浜市西区で震度 5 弱以上の地震と発表した場合は、非常放送を実施 ・気象庁が東京湾内湾に津波警報を発表した場合は、非常放送を実施
被害状況確認 ↓	<b>① 状況の確認</b> ・負傷者の有無 ・火災発生時の初期消火	<b>① 状況の確認</b> ・負傷者の有無 ・火災発生時の初期消火 ・施設設備の被害確認
避難誘導 ↓	<b>① 建物の安全が確認された場合</b> ・建物内に留まり強い余震に警戒 <b>② 建物損害が有る場合</b> ・来場者の避難誘導 避難場所は臨港パーク（津波警報等なしの場合） <b>③ 津波警報等が出ている場合</b> ・2 階(デッキ含)以上に避難誘導	<b>① 建物損害が有る場合</b> ・来場者の避難誘導 避難場所は臨港パーク（津波警報等なしの場合） <b>② 津波警報等が出ている場合</b> ・2 階(デッキ含)以上に避難誘導
周辺状況の確認 ↓		<b>① 地震情報の収集</b> ・災害情報収集用テレビの設置 <b>② 周辺状況の確認</b> ・周辺施設の状況確認 ・公共交通機関の運行状況等
催事開催の判断	<b>① 開催（再開・中止）の判断</b> ・開催可否の協議	

### ※地震に伴って停電が起きた場合

- ① 停電が発生した場合は、以下の機器類が作動します。
  - ・非常照明：保安照明の作動まで点灯します。
  - ・避難誘導灯：内蔵バッテリーにて最大 60 分程度点灯します。
  - ・非常放送設備：内蔵バッテリーで作動します。
- ② 電力供給が自家用発電機に切り替わり、保安照明等、の緊急時に必要な設備が 2 ～ 3 分で立ち上がります。ただし、自家用発電機のみでは通常の供給量は確保できないため、安全確保に必要な設備機器(保安照明、非常放送、防災設備、給排水ポンプ等)への供給のみとなります。



### (3) 救急（病人・負傷者）

	主催者	パシフィック横浜
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">救急の発生</div> <div style="text-align: center;">↓</div>	<b>① 症状の確認</b> ・症状から緊急性等を確認 ・移動可能な場合は、救護室等を利用	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">通報・連絡</div> <div style="text-align: center;">↓</div>	<b>① パシフィック担当者へ連絡</b> ・担当者へ症状等の連絡 <b>② 中央防災センターへ連絡</b> ・内線：9119 または 2127 ・外線：045-221-2127 <b>③ 119 番通報の優先</b> ・意識等がない場合、関係者に確認して直接 119 番に通報 <医療機関へ行くか、救急車を呼ぶか迷った場合> ※横浜市救急相談センターに相談 「#7119」または 045-232-7119	<b>① 主催者からの連絡受電</b> ・担当者は症状等の連絡受電後、中央防災センター及び関係部署へ連絡 <b>② 119 番通報</b> ・受電内容により、パシフィック横浜から救急車要請 <医療機関へ行くか、救急車を呼ぶか迷った場合> ※横浜市救急相談センターに相談 「#7119」または 045-232-7119
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">応急手当</div> <div style="text-align: center;">↓</div>	<b>① 応急手当</b> ・救護室等の救急箱を使用 ・応急手当を実施 <b>② 心肺蘇生</b> ・直近の AED を使用し心肺蘇生	<b>① 応急手当</b> ・応急手当を実施 ・車椅子等による搬送 <b>② 心肺蘇生</b> ・AED を使用し心肺蘇生
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">情報収集</div> <div style="text-align: center;">↓</div>	<b>① 救急（病人・負傷者）の情報収集</b> ・身元や同伴者等の確認 <b>② 現場の保存</b> ・重篤な負傷者の場合、受傷した現場を保存	<b>① 救急（病人・負傷者）の情報収集</b> <b>② 現場の保存</b> ・重篤な負傷者の場合、受傷した現場を保存
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">救急車搬送</div>	<b>① 救急車搬送</b> ・救急隊へ症状や情報等の提供 ・同伴者または主催者の同乗	<b>① 救急車搬送</b> ・防災センターで救急車を誘導 ・救急隊へ症状や情報等の提供

※AED 設置場所は、資料の救護設備をご参照ください。

(4) 事件・事故

	主催者	パシフィコ横浜
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">状況の確認</div> <div style="text-align: center;">↓</div>	① 状況の確認 ・事件、事故の内容を確認	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">通報・連絡</div> <div style="text-align: center;">↓</div>	① 中央防災センターへ連絡 ・内線：9119 または 2127 外線：045-221-2127 ② パシフィコ担当者へ連絡 ③ 119番・110番通報の優先 ・緊急性が高い場合は直接、119番・110番に通報	① 主催者からの連絡受電 ・中央防災センターへ連絡 ② 担当者は状況確認後、関係部署へ連絡 ③ 119番・110番通報 ・必要に応じて119番および110番に通報
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">安全確保</div> <div style="text-align: center;">↓</div>	① 安全確保 ・火災発生時は初期消火を実施 ・二次災害防止を図る。	① 安全確保 ・火災発生時は初期消火を実施 ・二次災害防止を図る。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">初期対応</div> <div style="text-align: center;">↓</div>	① 応急手当 ・負傷者発生時は応急手当を実施 ② 案内誘導 ・必要に応じて放送等により、来場者へ案内と避難誘導を実施	① 応急手当 ・負傷者発生時は応急手当実施 ② 案内誘導 ・必要に応じて避難誘導を実施 ・重大かつ緊急の場合は非常放送を実施
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">現場の保全</div> <div style="text-align: center;">↓</div>	① 現場の保全 ・消防・警察に通報した場合、現場を保存	① 現場の保全 ・消防・警察に通報した場合、現場を保存
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">催事開催の判断</div>	① 開催（再開・中止）の判断 ・開催可否の協議	

## 4.資料

### (1) 避難経路

- ・国立大ホール
- ・会議センター
- ・展示ホール、アネックスホール
- ・ノース

### (2) 防災設備

- ① 屋外消火栓
- ② 屋内消火栓
- ③ 非常電話
- ④ 常設消火器
- ⑤ 放水銃

### (3) 救護設備

- ① 救護室
- ② A E D (自動体外式除細動器)

### (4) 災害用備蓄品

# 避難経路図

## 国立大ホール(国立横浜国際会議場)

National Convention Hall (National Convention Hall of Yokohama)

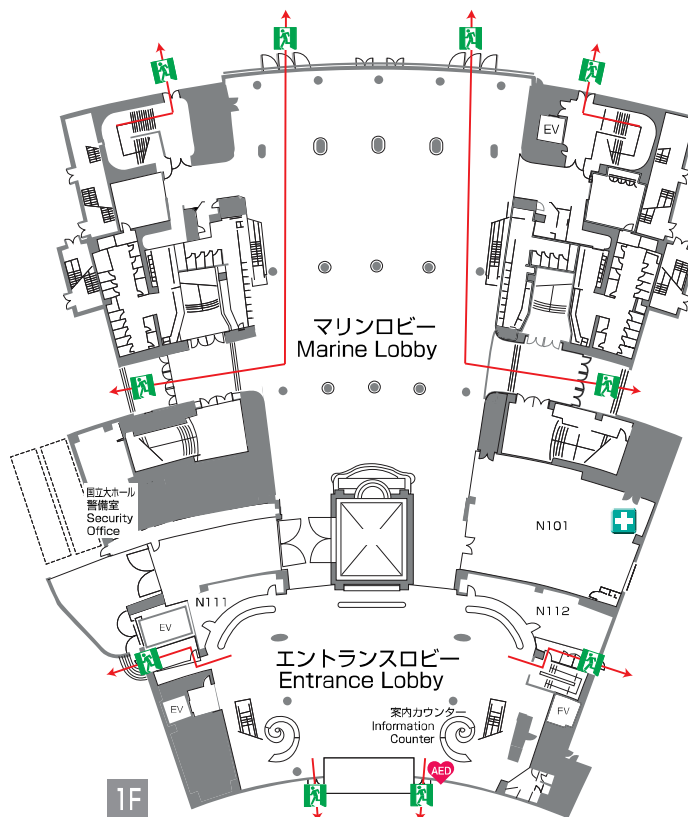
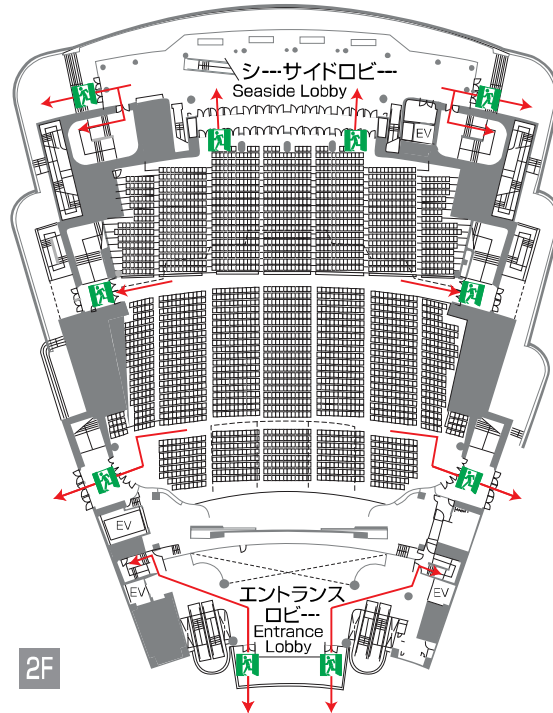
 救護室  
First-aid Corner

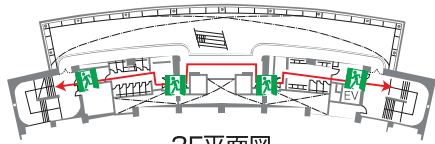
 避難経路  
Evacuation Route

 非常口  
Emergency Exit

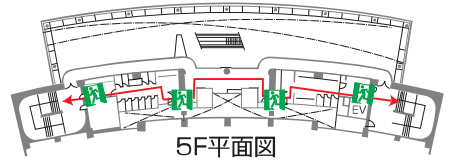
 AED  
(自動体外式除細動器)

フロア図 / Floor Plan

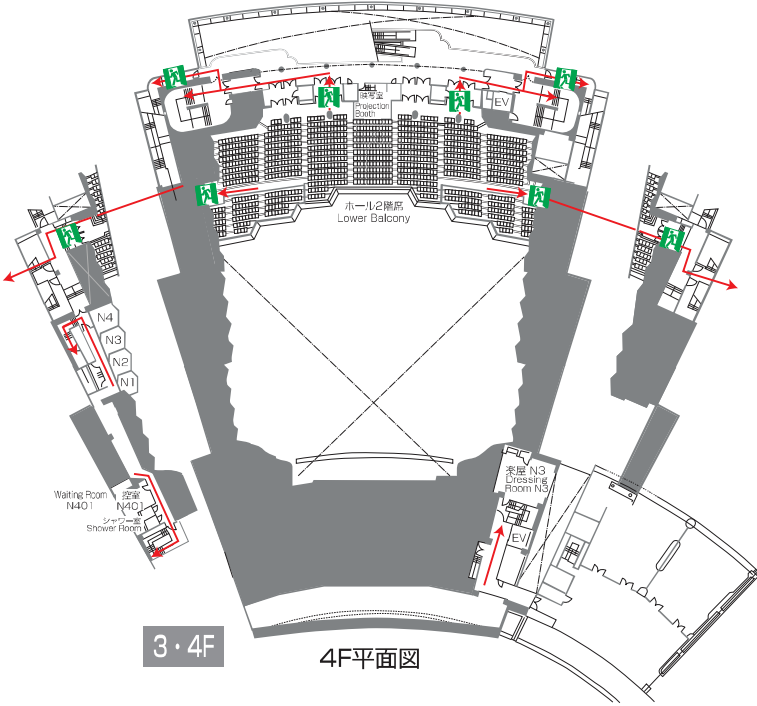




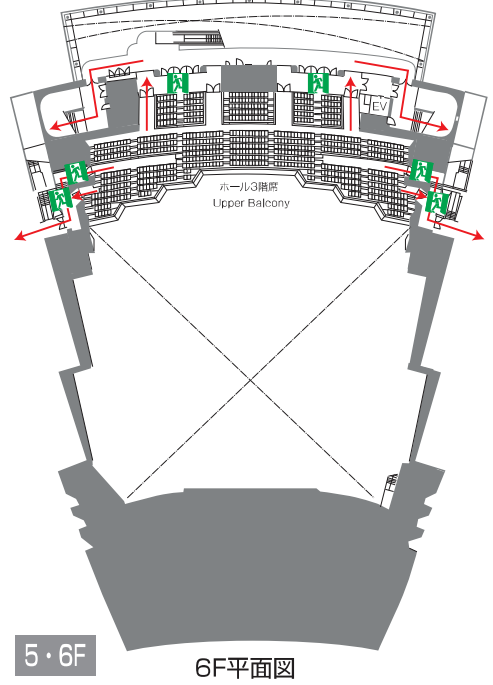
3F平面図  
 < 3F Seaside Lobby >



5F平面図  
 < 5F Seaside Lobby >

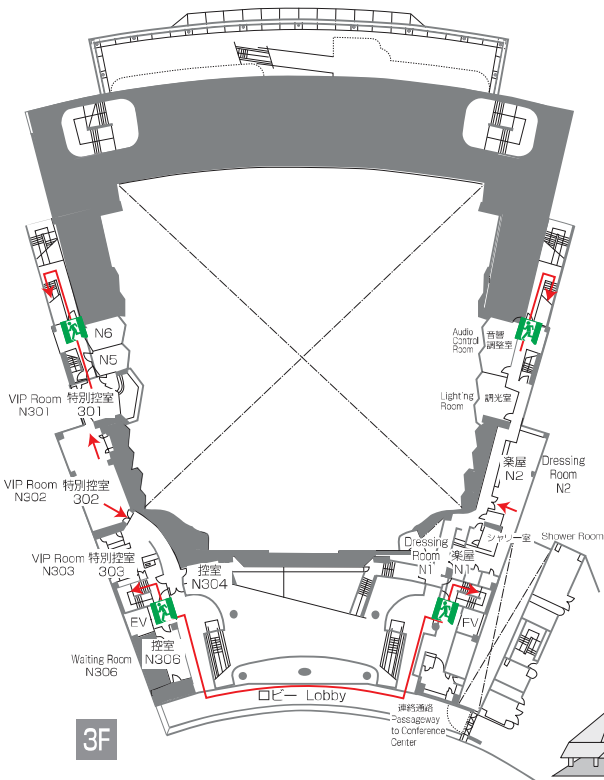


3・4F  
 4F平面図

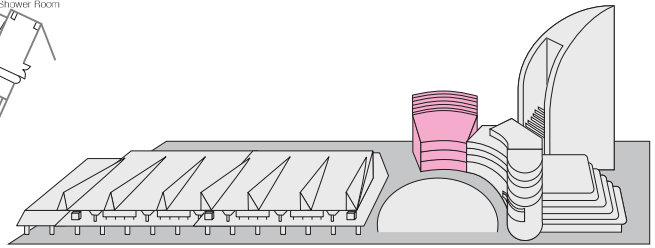


5・6F  
 6F平面図

フロア図 / Floor Plan



3F



# ■ 会議センター

Conference Center

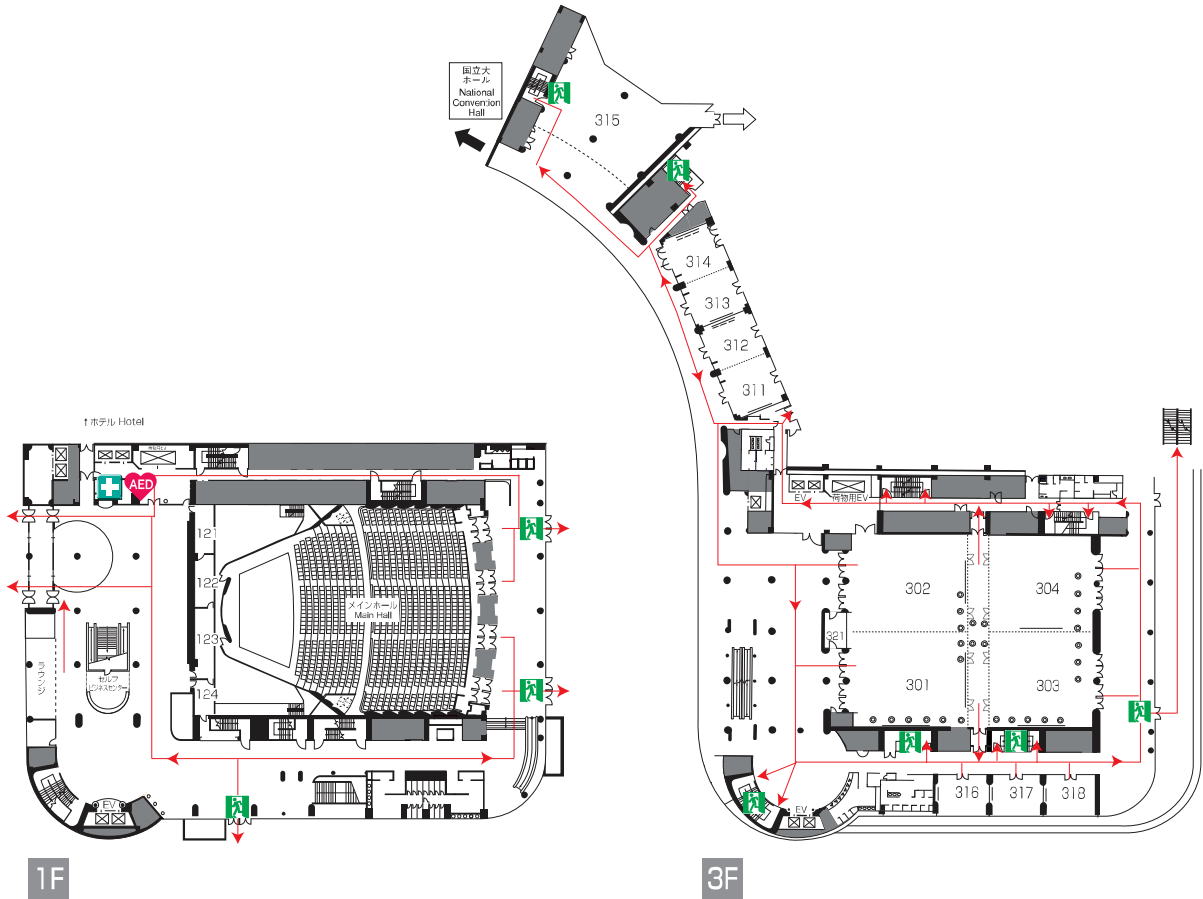
 救護室  
 First-aid Corner

 避難経路  
 Evacuation Route

 非常口  
 Emergency Exit

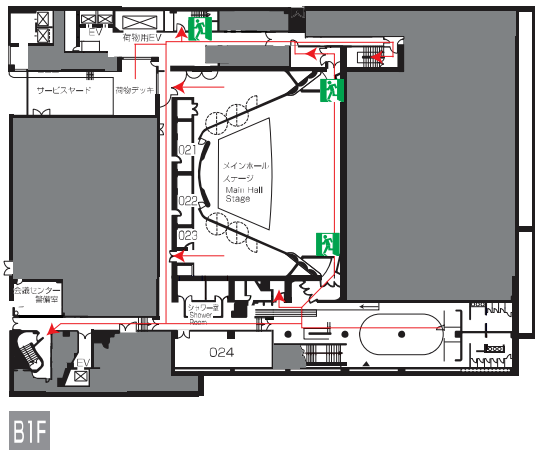
 AED  
 (自動体外式除細動器)

フロア図 / Floor Plan

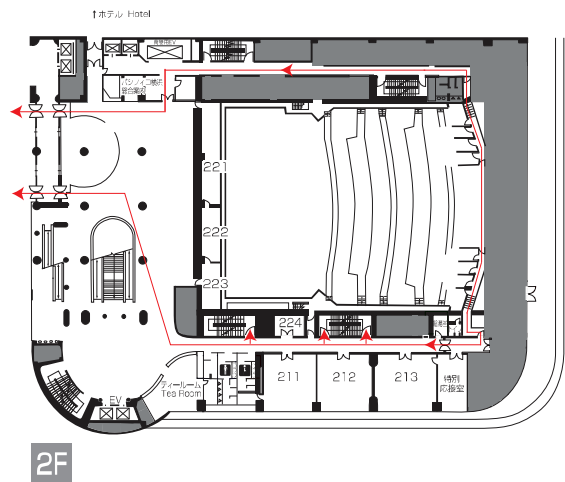


1F

3F



B1F



2F

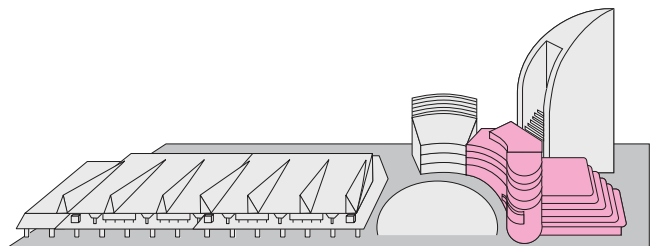
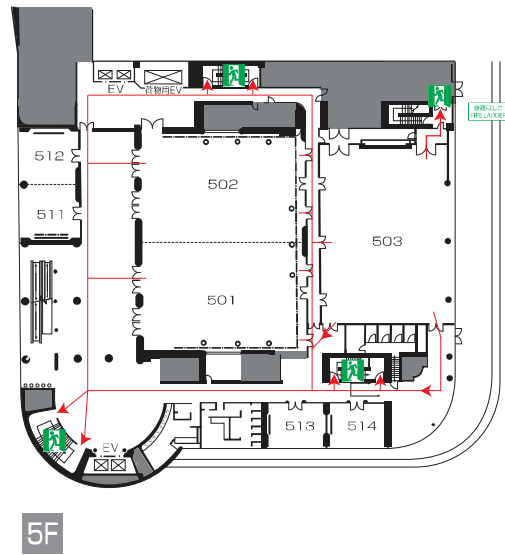
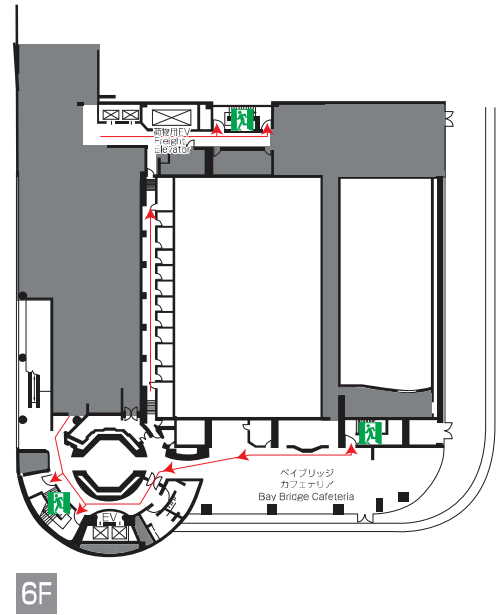
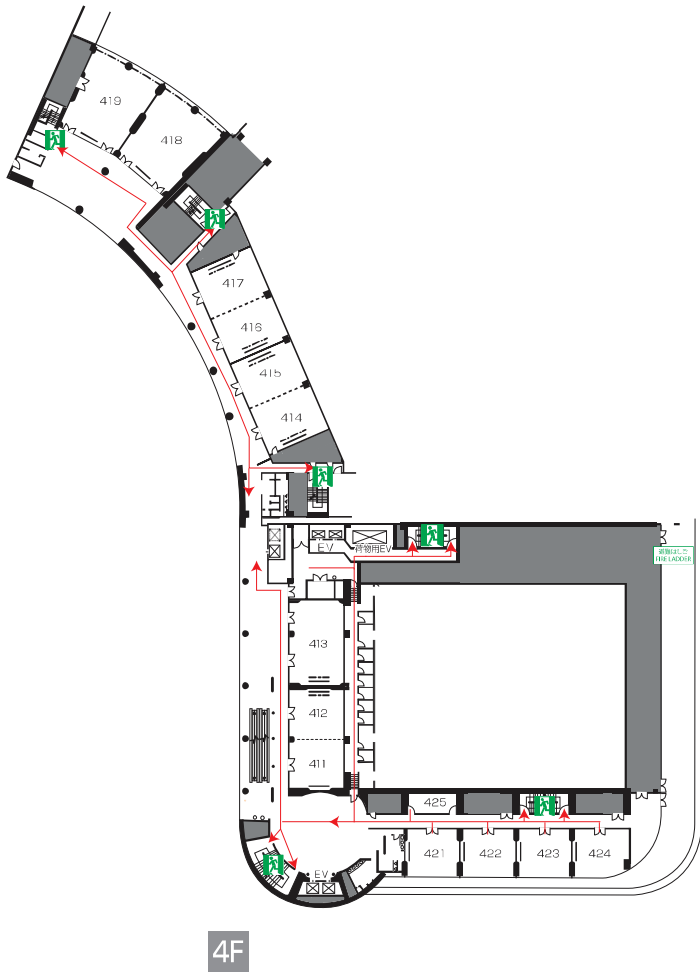
 救護室  
 First-aid Corner

 避難経路  
 Evacuation Route

 非常口  
 Emergency Exit

 AED  
 (自動体外式除細動器)

フロア図 / Floor Plan



# 展示ホール

Exhibition Hall

 救護室  
First-aid Corner

 避難経路  
Evacuation Route

 非常口  
Emergency Exit

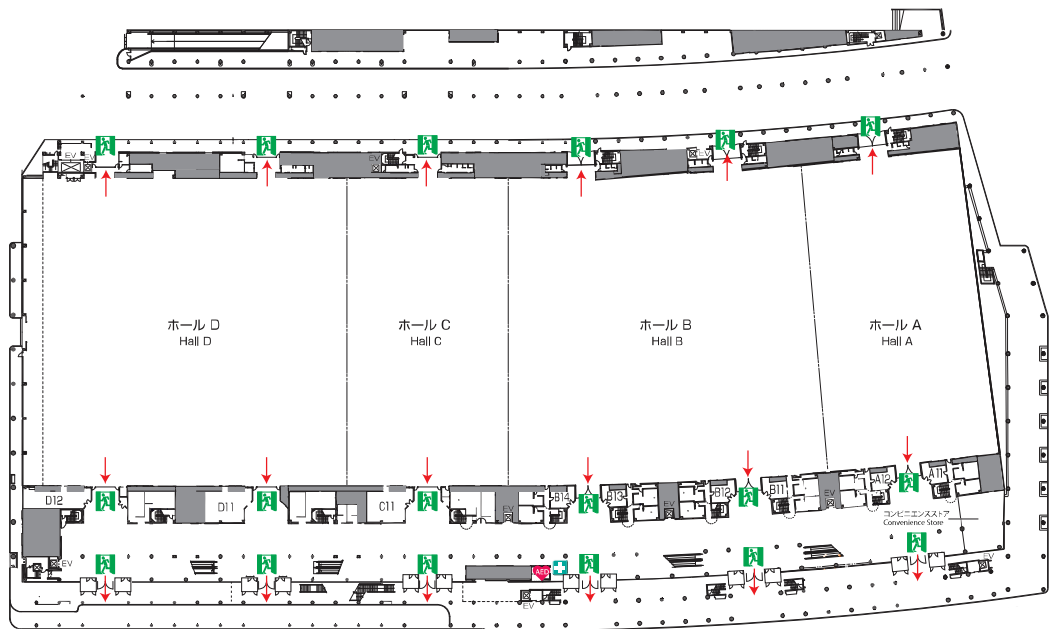
 AED  
(自動体外式除細動器)

フロア図 / Floor Plan

M2F



1F



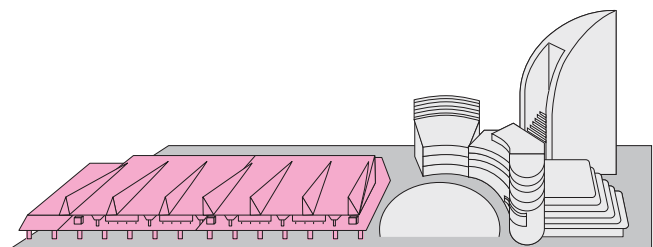
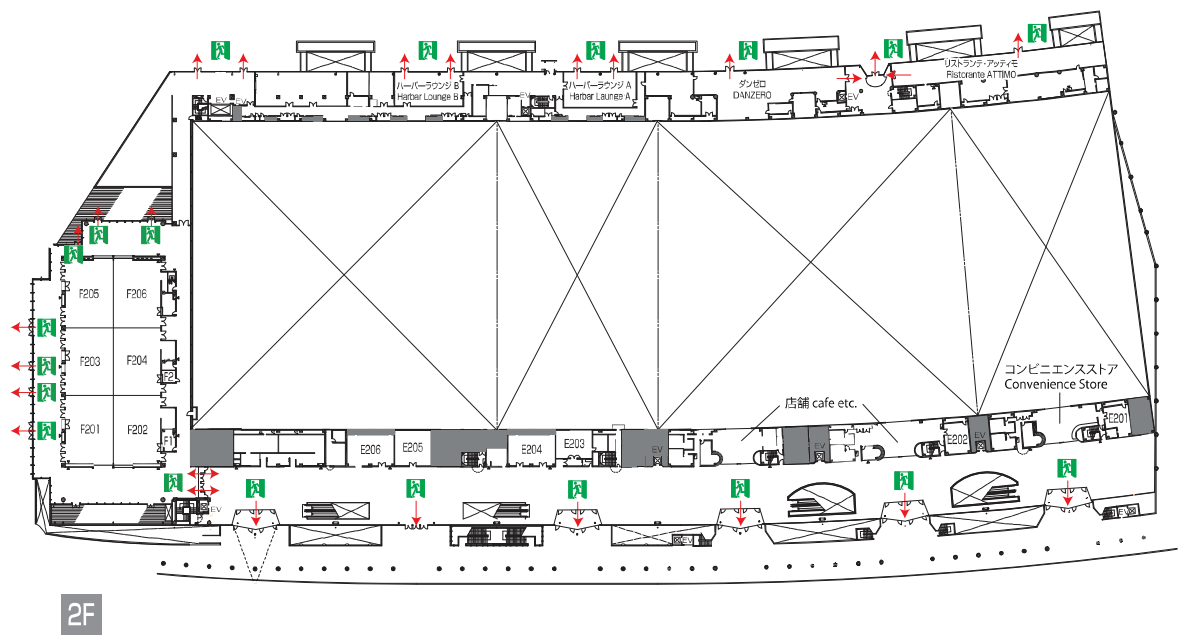


🏥 救護室  
First-aid Corner

➡ 避難経路  
Evacuation Route

🚪 非常口  
Emergency Exit

❤️ AED  
（自動体外式除細動器）



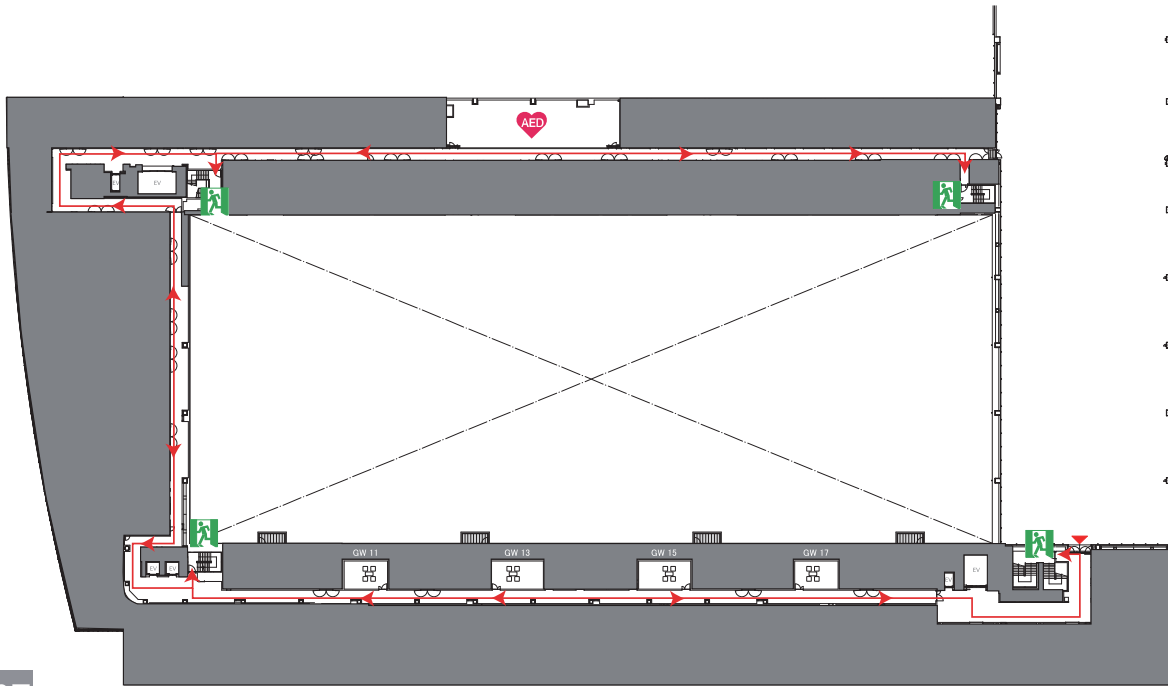
■ノース  
North

- + 救護室  
First-aid Corner
- 避難経路  
Evacuation Route
- + 非常口  
Emergency Exit
- ♥ AED  
(自動体外式除細動器)
- + 救助袋  
Escape Chute

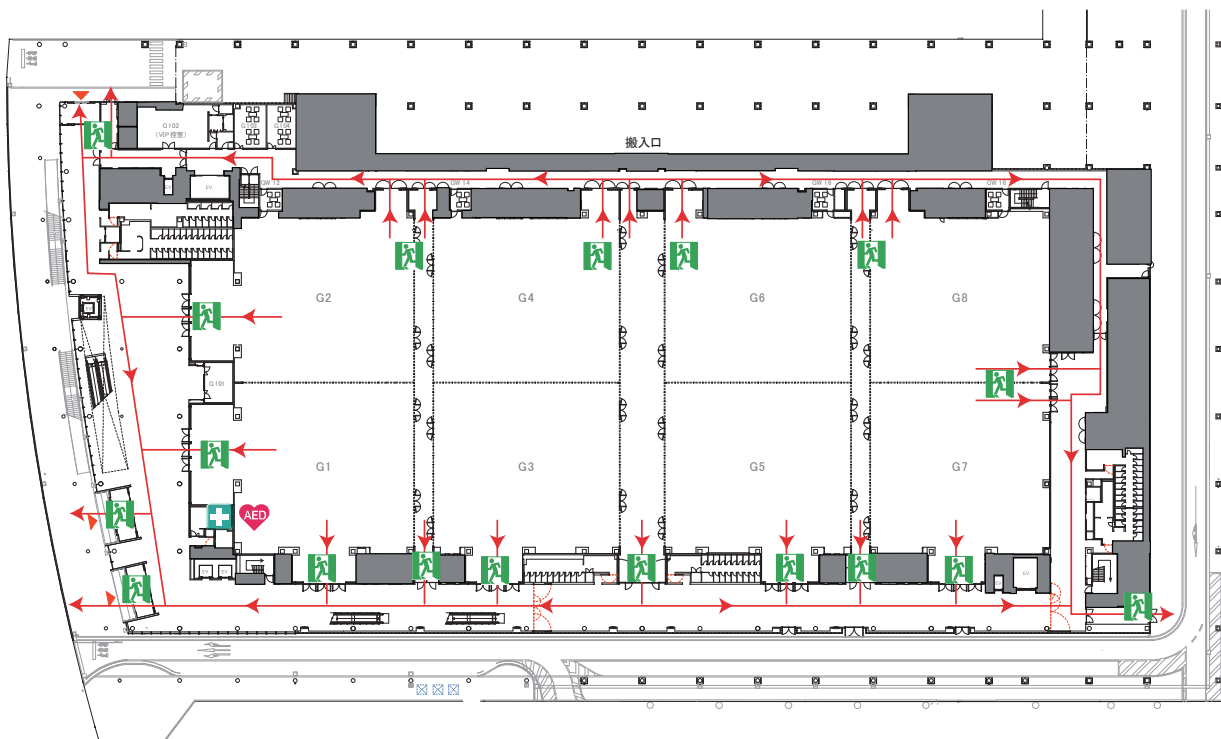
- + 救助袋  
避難空地

フロア図 / Floor Plan

M2F



1F



 救護室  
 First-aid Corner

 避難経路  
 Evacuation Route

 非常口  
 Emergency Exit

 AED  
 (自動体外式除細動器)

 救助袋  
 Escape Chute

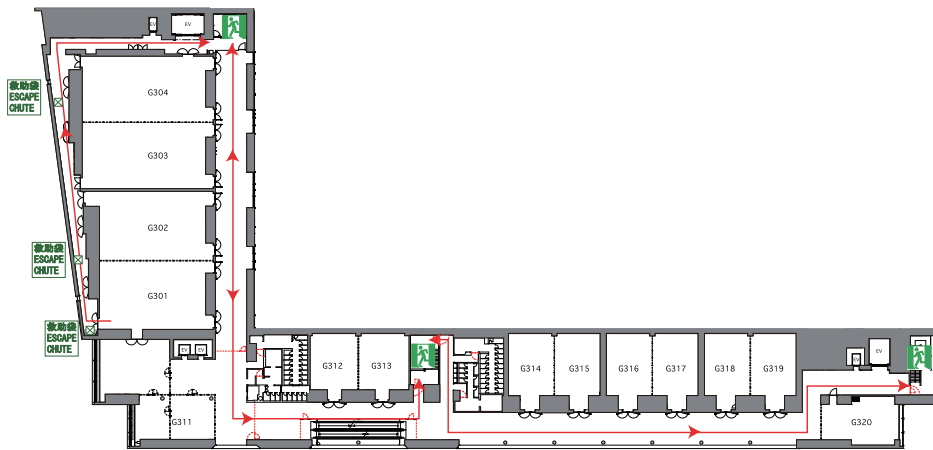
 救助袋  
 避難空地

フloor Plan / Floor Plan

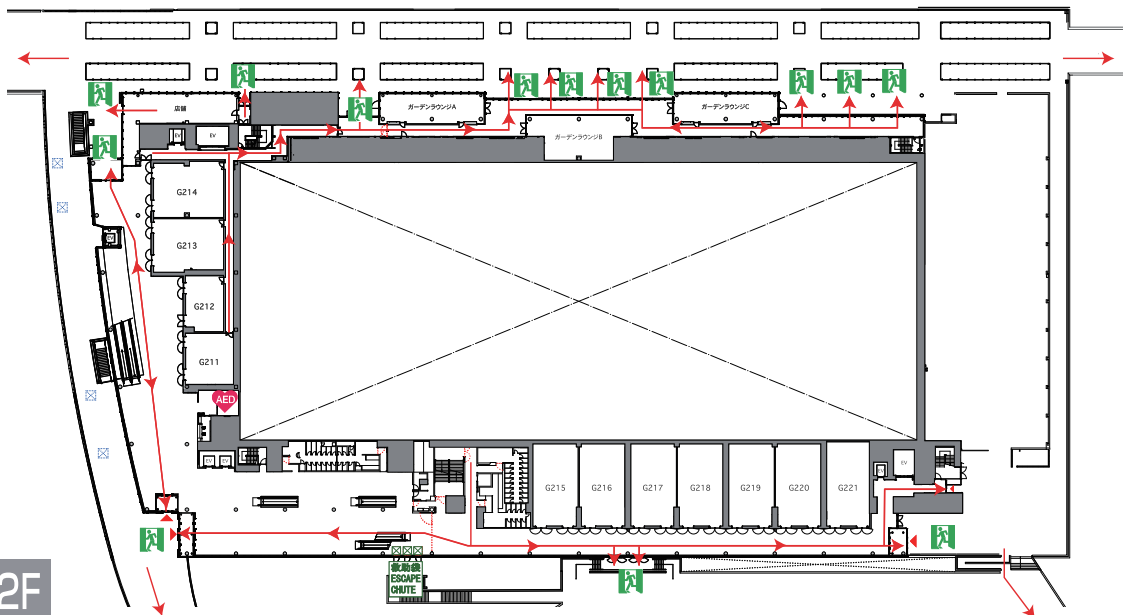
4F



3F



2F



## (2) 防災設備

### ① 屋外消火栓



### ② 屋内消火栓



### ③ 非常電話

(火災時、受話器を取れば直接防災センターに繋がります。)



### ④ 常設消火器



### ⑤ 放水銃



### (3) 救護設備

#### ① 救護室

施設	設置場所	設備・備品
国立大ホール	1階「控室 N101」が救護室を兼ねています。	ベッド 2 台、車椅子 3 台、担架 1 台、血圧計 1 台、事務用机・椅子一式、救急箱 その他（使い捨て手袋、マスク、冷却剤等）
会議センター	1階	ベッド 2 台、車椅子 2 台、担架 1 台、血圧計 1 台、事務用机・椅子一式、救急箱 その他（使い捨て手袋、マスク、冷却剤等）
展示ホール	1階 コンコース ホール B 前	ベッド 2 台、車椅子 3 台、担架 1 台、血圧計 2 台、事務用机・椅子一式、救急箱 その他（使い捨て手袋、マスク、冷却剤等）
ノース	1階	ベッド 2 台、車椅子 2 台、担架 1 台、血圧計 1 台、事務用机・椅子一式、救急箱 その他（使い捨て手袋、マスク、冷却剤等）

※医師・看護師の常駐はありません。

〔お客様にて御手配いただき、救護室をご使用することは問題ありません。（他催事との調整要）  
また、弊社にて、医師・看護師の手配会社のご紹介を承っておりますので、営業担当にご相談ください。〕



<国立大ホール（控室 N101 内）>



<会議センター>



<展示ホール>

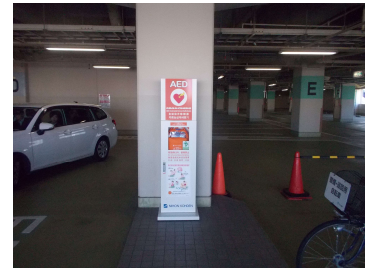


<ノース>

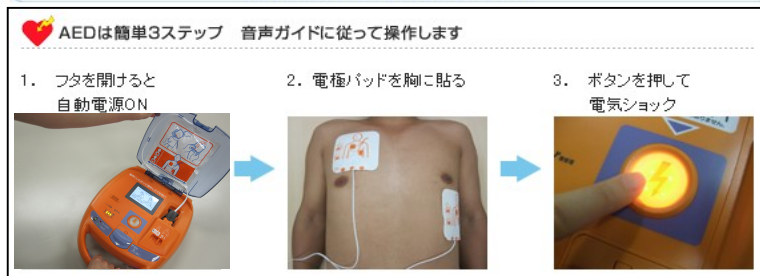
## ② AED（自動体外式除細動器）設置場所

	設置施設	設置場所
①	国立大ホール	1F エントランス
②	会議センター	1F 救護室前
③	展示ホール	1F 救護室前
④		B1F 中央防災センター
⑤	ぷかりさん橋	1F エントランス付近
⑥	臨港パーク	臨港パーク駐車場 出入り口
⑦	ノース	1F 救護室内
⑧		1F 駐車場管理室
⑨		M2F 中央管理室
⑩		2F 総合案内横（セルフビジネスセンター内）

\* 15 ページ～22 ページの各施設の「避難経路図」中の AED 設置場所を参照



### ♥ 心肺蘇生の流れ



協力：日本光電工業株式会社



## (4) 災害用備蓄品

2019年11月現在

品名	数
アルミブランケット	3,000 枚
非常食	3,000 個
ライスクッキー（食物アレルギー対応）	96 個
簡単トイレ	12,800 個
災害支援ベンダー（自動販売機）	会議センター：2 台 展示ホール：9 台

※ 大規模災害時には、ご利用者の皆様の状況を踏まえて、備蓄品の提供をいたします。



株式会社横浜国際平和会議場

**パシフィコ横浜**

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1

TEL 総合案内 045-221-2155 営業運営部 045-221-2133

FAX 045-221-2136

<http://www.pacifco.co.jp/>